

令和5年度  
福崎町決算審査意見書

一般会計・特別会計  
基金運用状況

福崎町監査委員

福監第16386号  
令和6年8月28日

福崎町長 尾崎吉晴様

福崎町監査委員 鳥岡照義

福崎町監査委員 石川治

令和5年度福崎町一般会計・特別会計決算審査  
及び基金運用状況審査意見書の提出について

地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項の規定により審査に付された令和5年度の決算及び基金運用状況について審査した結果、次のとおり意見を提出します。

# 令和5年度福崎町一般会計・特別会計決算及び基金運用状況審査意見

## 第1 審査の対象

令和5年度福崎町一般会計歳入歳出決算  
令和5年度福崎町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算  
令和5年度福崎町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算  
令和5年度福崎町介護保険事業特別会計歳入歳出決算  
令和5年度基金運用状況（用品調達基金・土地開発基金）

## 第2 審査の実施日

令和6年8月5日、6日、7日、8日、13日

## 第3 審査の着眼点

審査の対象になった一般会計・特別会計歳入歳出決算書、決算報告書及びその他関係書類並びに基金運用状況報告書の記載事項が法令に適合し、かつ計数は正確であるか、事務処理は正確であるか等について審査しました。

また、基金については、その設置目的に沿って确实かつ効率的に運用されているか、計数は正確であるか等について審査しました。

## 第4 審査の実施内容

提出された一般会計・特別会計歳入歳出決算書、決算報告書及びその他関係書類並びに基金運用状況報告書等の書類を主な資料とし、担当職員から状況等を聴取して審査を行いました。また、事業等の成果を確認するため、現地調査を行いました。

## 第5 審査の結果

福崎町監査基準に基づき審査した限りにおいて、審査の対象になった一般会計・特別会計歳入歳出決算書等の記載事項は、いずれも法令に適合しており、その計数は正確であると認めました。

なお、事務処理については、その一部について例月出納検査や定期監査等で指摘していますが、おおむね良好であると認めました。

また、基金はその設置目的に沿って确实かつ効率的に運用されており、計数は正確であると認めました。

## 第6 決算の概要

### 1 総括

#### (1) 決算の規模

直近5箇年の一般会計及び特別会計の決算規模は、次のとおりです。

年度別一般会計・特別会計決算状況表

(単位:円)

区分	会計別	予算現額	収入済額(A)	支出済額(B)	形式収支(A)-(B)
令和 元年度	一般会計	8,991,600,000	8,771,031,090	8,559,638,151	211,392,939
	特別会計	4,030,500,000	3,974,206,151	3,924,283,299	49,922,852
	合計	13,022,100,000	12,745,237,241	12,483,921,450	261,315,791
令和 2年度	一般会計	10,813,900,000	10,470,630,343	10,198,303,672	272,326,671
	特別会計	4,149,600,000	4,158,339,222	4,079,113,484	79,225,738
	合計	14,963,500,000	14,628,969,565	14,277,417,156	351,552,409
令和 3年度	一般会計	10,151,340,000	9,715,275,732	9,415,356,142	299,919,590
	特別会計	4,102,300,000	4,035,051,694	3,984,091,792	50,959,902
	合計	14,253,640,000	13,750,327,426	13,399,447,934	350,879,492
令和 4年度	一般会計	9,541,350,000	9,079,629,677	8,899,745,528	179,884,149
	特別会計	4,043,600,000	3,979,806,833	3,912,751,139	67,055,694
	合計	13,584,950,000	13,059,436,510	12,812,496,667	246,939,843
令和 5年度	一般会計	9,883,080,000	9,153,837,876	9,022,573,082	131,264,794
	特別会計	4,130,086,000	4,017,593,805	3,949,364,246	68,229,559
	合計	14,013,166,000	13,171,431,681	12,971,937,328	199,494,353

## (2) 決算収支

令和5年度の一般会計及び特別会計決算収支の状況は、次のとおりです。

### 一般会計及び特別会計の収支決算の状況

(単位:円)

区 分	一般会計	特別会計	合計
歳入歳出予算現額	9,883,080,000	4,130,086,000	14,013,166,000
歳入総額 A (予算執行率)	9,153,837,876 92.6%	4,017,593,805 97.3%	13,171,431,681 94.0%
歳出総額 B (予算執行率)	9,022,573,082 91.3%	3,949,364,246 95.6%	12,971,937,328 92.6%
歳入歳出差引額(A-B) C	131,264,794	68,229,559	199,494,353
翌年度へ繰り越すべき財源 D	25,987,000	0	25,987,000
実質収支(C-D) E	105,277,794	68,229,559	173,507,353
前年度実質収支 F	166,905,149	67,055,694	233,960,843
単年度収支(E-F) G	△ 61,627,355	1,173,865	△ 60,453,490
財政調整基金積立金 H	1,100,000	66,016,539	67,116,539
繰上償還金 I	0	0	0
基金取崩し J	233,000,000	99,100,000	332,100,000
実質単年度収支 (G+H+I-J)	△ 293,527,355	△ 31,909,596	△ 325,436,951

一般会計・特別会計を合計した歳入総額 13,171,431,681 円から、歳出総額 12,971,937,328 円を差し引いた額は 199,494,353 円の黒字になっています。この差引額には翌年度へ繰り越すべき財源が含まれているため、これを差し引いた実質収支では 173,507,353 円の黒字となっています。また、当該年度のみ収支を示す単年度収支は 60,453,490 円の赤字となっています。単年度収支に財政調整基金積立金を加え、基金取崩し金を控除した実質単年度収支は 325,436,951 円の赤字となっています。

## 2 一般会計

### (1) 歳入の状況

#### ア 歳入の決算状況

歳入の決算状況は、次のとおりです。

#### 歳 入 総 額

(単位:円)

区分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
令和5年度	9,883,080,000	9,235,741,335	9,153,837,876	5,000,780	77,217,679
令和4年度	9,541,350,000	9,161,661,949	9,079,629,677	4,807,334	77,224,938
増減額	341,730,000	74,079,386	74,208,199	193,446	△ 7,259

令和5年度の歳入予算は、予算現額 9,883,080,000 円に対し、収入済額は 9,153,837,876 円で、前年度に比べ 74,208,199 円増加しています。

#### イ 不納欠損額の状況

不納欠損の状況は、次のとおりです。

#### 不納欠損状況

(単位:円)

区 分	令和5年度	令和4年度	前年度比較 増減額
町 税	5,000,780	4,807,334	193,446
分担金及び負担金	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0
諸 収 入	0	0	0
計	5,000,780	4,807,334	193,446

令和5年度の不納欠損額は 5,000,780 円で、前年度に比べ 193,446 円増加しています。

### ウ 収入未済額の状況

収入未済額の状況は、次のとおりです。

#### 収入未済状況

(単位:円)

区 分	令和5年度	令和4年度	前年度比較 増減額
町 税	60,432,494	59,694,914	737,580
分担金及び負担金	162,800	138,900	23,900
使用料及び手数料	1,069,550	1,254,950	△ 185,400
諸 収 入	15,552,835	16,136,174	△ 583,339
計	77,217,679	77,224,938	△ 7,259

令和5年度の収入未済額は77,217,679円で、前年度に比べ7,259円減少しています。

町税に係る収入未済額は60,432,494円で、前年度に比べ737,580円増加しています。分担金及び負担金に係る収入未済額は162,800円で、前年度に比べ23,900円増加しています。使用料及び手数料に係る収入未済額は1,069,550円で、前年度に比べ185,400円減少しています。諸収入に係る収入未済額は15,552,835円で、前年度に比べ583,339円減少しています。

## エ 自主・依存財源別歳入決算額の状況

自主・依存財源別歳入決算額の状況は、次のとおりです。

### 自主・依存財源別歳入決算額の状況

(単位:円、%)

区 分		令和5年度		令和4年度		前年度比較	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	前年度比
自主財源	町 税	3,342,273,853	36.5	3,370,209,571	37.1	△ 27,935,718	99.2
	分担金及び負担金	165,417,239	1.8	165,800,224	1.8	△ 382,985	99.8
	使用料及び手数料	80,224,888	0.9	78,383,690	0.9	1,841,198	102.3
	財産収入	9,500,771	0.1	8,092,486	0.1	1,408,285	117.4
	寄附金	91,999,143	1.0	74,704,646	0.8	17,294,497	123.2
	繰入金	375,792,000	4.1	235,168,000	2.6	140,624,000	159.8
	繰越金	179,884,149	2.0	299,919,590	3.3	△ 120,035,441	60.0
	諸収入	260,671,589	2.8	305,436,304	3.4	△ 44,764,715	85.3
	計	4,505,763,632	49.2	4,537,714,511	50.0	△ 31,950,879	99.3
依存財源	地方譲与税	82,013,000	0.9	81,641,000	0.9	372,000	100.5
	利子割交付金	1,287,000	0.0	1,396,000	0.0	△ 109,000	92.2
	配当割交付金	23,576,000	0.3	20,675,000	0.2	2,901,000	114.0
	株式等譲渡所得割交付金	25,110,000	0.3	14,750,000	0.2	10,360,000	170.2
	法人事業税交付金	67,357,000	0.7	69,175,000	0.8	△ 1,818,000	97.4
	地方消費税交付金	503,609,000	5.5	511,581,000	5.6	△ 7,972,000	98.4
	ゴルフ場利用税交付金	13,618,383	0.1	14,229,238	0.2	△ 610,855	95.7
	環境性能割交付金	14,830,000	0.2	14,302,000	0.2	528,000	103.7
	地方特例交付金	50,433,000	0.6	37,458,000	0.4	12,975,000	134.6
	地方交付税	1,687,005,000	18.4	1,553,467,000	17.1	133,538,000	108.6
	交通安全対策特別交付金	2,389,000	0.0	2,731,000	0.0	△ 342,000	87.5
	国庫支出金	1,034,650,566	11.3	1,146,782,275	12.6	△ 112,131,709	90.2
	県支出金	567,716,295	6.2	560,070,653	6.2	7,645,642	101.4
	町 債	574,480,000	6.3	513,657,000	5.6	60,823,000	111.8
計	4,648,074,244	50.8	4,541,915,166	50.0	106,159,078	102.3	
合 計	9,153,837,876	100.0	9,079,629,677	100.0	74,208,199	100.8	

令和5年度の財源を前年度の決算額と比較すると、自主財源は31,950,879円(0.7%)減少して4,505,763,632円となっています。依存財源は106,159,078円(2.3%)増加して4,648,074,244円となっています。その結果、自主財源比率は49.2%となっています。

## オ 町債借入額及び現在高の状況

町債借入額及び現在高の状況は、次のとおりです。

### 町債借入額及び残高の推移

(単位:円、%)

区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
当年度 町債収入	総額	1,048,088,000	702,241,000	849,300,000	513,657,000	574,480,000
	臨時財政 対策債 (割合)	335,788,000 32.0	316,244,000 45.0	390,000,000 45.9	115,857,000 22.6	57,080,000 9.9
	その他	712,300,000	385,997,000	459,300,000	397,800,000	517,400,000
当年度 末時点 未償還 元金	総額	11,736,219,681	11,512,506,238	11,349,457,445	10,776,985,356	10,302,337,867
	臨時財政 対策債 (割合)	4,534,094,943 38.6	4,505,421,520 39.1	4,525,230,866 39.9	4,254,825,408 39.5	3,918,863,342 38.0
	その他	7,202,124,738	7,007,084,718	6,824,226,579	6,522,159,948	6,383,474,525

令和5年度末における町債現在高は10,302,337,867円で、令和4年度末に比べ474,647,489円減少しています。

## (2) 歳出の状況

### ア 歳出の決算状況

歳出の決算状況は、次のとおりです。

### 歳 出 総 額

(単位:円、%)

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和 5年度	9,883,080,000	9,022,573,082	621,840,000	238,666,918	91.3
令和 4年度	9,541,350,000	8,899,745,528	399,580,000	242,024,472	93.3
増 減	341,730,000	122,827,554	222,260,000	△ 3,357,554	△ 2

令和5年度の予算現額9,883,080,000円に対し、支出済額は9,022,573,082円で、執行率は91.3%です。支出済額は前年度に比べ122,827,554円増加しています。予算現額から支出済額を差し引き、翌年度への繰越額621,840,000円を差し引いた238,666,918円が不用額となっています。

## イ 一般会計歳出性質別内訳及び比較表

一般会計歳出性質別内訳及び比較表は、次のとおりです。

### 一般会計歳出性質別内訳及び比較表

(単位:千円)

性質別		令和5年度 決算額	令和4年度 決算額	前年度増減比 (%)	構成比(%)	
					R5年度	R4年度
人	件 費	1,676,066	1,638,743	2.3	18.6	18.4
物	件 費	1,345,345	1,391,303	△ 3.3	14.9	15.6
維	持 補 修 費	51,850	44,582	16.3	0.6	0.5
扶	助 費	1,324,507	1,260,429	5.1	14.7	14.2
補	助 費 等	1,651,982	1,757,851	△ 6.0	18.3	19.7
普通 建設 事業	補 助 事 業	413,792	485,302	△ 14.7	4.6	5.5
	単 独 事 業	425,002	348,713	21.9	4.7	3.9
	県 営 事 業	48,776	16,336	198.6	0.5	0.2
	計	887,570	850,351	4.4	9.8	9.6
災 害 復 旧 事 業	補 助 事 業	0	0	0.0	0.0	0.0
	単 独 事 業	0	0	0.0	0.0	0.0
	計	0	0	0.0	0.0	0.0
公	債 費	1,079,064	1,116,199	△ 3.3	12.0	12.5
積	立 金	128,234	77,118	66.3	1.4	0.9
投	資 ・ 出 資 金	108,400	43,000	152.1	1.2	0.5
貸	付 金	50,000	46,070	8.5	0.5	0.5
繰	出 金	719,555	674,100	6.7	8.0	7.6
歳	出 合 計	9,022,573	8,899,746	1.4	100.0	100.0

令和5年度一般会計の歳出総額9,022,573千円のうち義務的経費（人件費、扶助費、公債費）は4,079,637千円で全体の45.3%となっています。投資的経費（普通建設事業費、災害復旧事業費）は887,570千円で全体の9.8%となっています。

## ウ 翌年度繰越額の状況

翌年度繰越額の状況は、次のとおりです。

### 翌年度繰越額の状況

(単位:円)

款	項	事業名	翌年度繰越額	財源のうち 一般財源分
総務費	総務管理費	町長車購入事業	6,600,000	1,800,000
	戸籍住民基本台帳費	電算システム改修事業(社会保障・税番号制度)	14,500,000	0
民生費	社会福祉費	低所得世帯支援臨時給付金給付事業	4,150,000	0
		低所得世帯・低所得子育て世帯支援臨時給付金給付事業	71,590,000	0
農林水産業費	農業費	地域計画策定事業	2,000,000	2,000,000
		町営ため池整備事業	35,000,000	1,050,000
土木費	道路橋梁費	道路維持改修事業	30,000,000	0
		町単道路改良事業(道路新設改良)	1,000,000	1,000,000
		社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良)	32,000,000	15,460,000
教育費	小学校費	小学校空調設備等整備事業	207,200,000	396,000
	中学校費	中学校空調設備等整備事業	213,800,000	281,000
	社会教育費	図書館施設改修事業	4,000,000	4,000,000
合計			621,840,000	25,987,000

令和5年度の翌年度繰越額は621,840千円で、前年度(399,580千円)に比べ222,260千円増加しています。なお、翌年度繰越額の財源のうち一般財源は25,987千円です。翌年度繰越額は、すべて繰越明許費となっています。

## エ 不用額の状況

不用額の状況は、次のとおりです。

### 不用額の状況

(単位:円)

	令和5年度	令和4年度	増減額
議 会 費	977,873	840,630	137,243
総 務 費	29,022,853	20,280,898	8,741,955
民 生 費	50,115,955	104,919,044	△ 54,803,089
衛 生 費	22,570,262	20,615,880	1,954,382
農林水産業費	3,056,478	8,497,294	△ 5,440,816
商 工 費	3,611,775	7,314,725	△ 3,702,950
土 木 費	28,085,224	19,373,263	8,711,961
消 防 費	10,833,715	14,107,121	△ 3,273,406
教 育 費	88,077,064	43,744,848	44,332,216
公 債 費	315,719	330,769	△ 15,050
予 備 費	2,000,000	2,000,000	0
合 計	238,666,918	242,024,472	△ 3,357,554

令和5年度の不用額は238,666,918円で、前年度に比べ3,357,554円減少しています。

### 3 国民健康保険事業特別会計

歳入歳出決算の前年度との比較は次のとおりです。

#### 歳入歳出決算状況

(単位:円)

区 分	歳 入 総 額	歳 出 総 額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰り越すべき財源	実 質 収 支
令和5年度	1,900,757,749	1,881,270,559	19,487,190	0	19,487,190
令和4年度	1,911,722,349	1,899,699,671	12,022,678	0	12,022,678
増 減 額	△ 10,964,600	△ 18,429,112	7,464,512	0	7,464,512

令和5年度の国民健康保険事業特別会計の決算額は、歳入総額1,900,757,749円、歳出総額1,881,270,559円で、歳入歳出差引額及び実質収支は19,487,190円の黒字となっています。

なお、国保財政調整基金については、58,900,000円を取り崩し、12,002,678円を積み立てた結果、決算年度末残高は24,897,572円となっています。

#### (1) 歳入の状況

歳入の決算状況は、次のとおりです。

#### 歳入の決算状況

(単位:円、%)

区分	予算現額	調定額	収入済額	うち 還付未済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較	執行率	
								対予算	対調定
令和5年度	1,971,600,000	1,966,770,576	1,900,757,749	172,700	5,895,214	60,290,313	△ 70,842,251	96.4	96.6
令和4年度	1,939,600,000	1,979,326,141	1,911,722,349	0	5,810,782	61,793,010	△ 27,877,651	98.6	96.6
増 減	32,000,000	△ 12,555,565	△ 10,964,600	172,700	84,432	△ 1,502,697	△ 42,964,600	△ 2.2	0

令和5年度の予算現額1,971,600,000円に対し、収入済額は1,900,757,749円で、執行率は96.4%です。収入済額は前年度に比べ10,964,600円減少しています。不納欠損額は5,895,214円で、前年度に比べ84,432円増加しています。収入未済額は、60,290,313円で、前年度に比べ1,502,697円減少しています。

## (2) 歳出の状況

歳出の決算状況は、次のとおりです。

### 歳出の決算状況

(単位:円、%)

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和 5年度	1,971,600,000	1,881,270,559	0	90,329,441	95.4
令和 4年度	1,939,600,000	1,899,699,671	0	39,900,329	97.9
増 減	32,000,000	△ 18,429,112	0	50,429,112	△ 2.5

令和5年度の予算現額1,971,600,000円に対し、支出済額は1,881,270,559円で、執行率は95.4%です。支出済額は前年度に比べ18,429,112円減少しています。不用額は90,329,441円で、前年度に比べ50,429,112円増加しています。

#### 4 後期高齢者医療事業特別会計

歳入歳出決算の前年度との比較は次のとおりです。

#### 歳入歳出決算状況

(単位:円)

区 分	歳 入 総 額	歳 出 総 額	歳 入 歳 出 差 引 額	翌年度へ繰り越すべき財源	実 質 収 支
令和5年度	317,147,330	310,759,949	6,387,381	0	6,387,381
令和4年度	305,681,460	299,082,305	6,599,155	0	6,599,155
増 減 額	11,465,870	11,677,644	△ 211,774	0	△ 211,774

令和5年度の後期高齢者医療事業特別会計の決算額は、歳入総額 317,147,330 円、歳出総額 310,759,949 円で、歳入歳出差引額及び実質収支は 6,387,381 円の黒字となっています。

#### (1) 歳入の状況

歳入の決算状況は、次のとおりです。

#### 歳 入 の 決 算 状 況

(単位:円、%)

区分	予算現額	調定額	収入済額	うち 還付未済額	不納欠損額	収入未済額 (還付未済額含む)	予算現額と収入済額との比較	執行率	
								対予算	対調定
令和5年度	317,286,000	318,587,305	317,147,330	12,715	0	1,452,690	△ 138,670	99.9	99.5
令和4年度	306,600,000	307,314,264	305,681,460	0	0	1,632,804	△ 918,540	99.7	99.5
増 減	10,686,000	11,273,041	11,465,870	12,715	0	△ 180,114	779,870	0.2	0.0

令和5年度の予算現額 317,286,000 円に対し、収入済額は 317,147,330 円で、執行率は 99.9%です。収入済額は前年度に比べ 11,465,870 円増加しています。不納欠損額は 0 円で、前年度から増減はありません。収入未済額は還付未済額 12,715 円を含む 1,452,690 円で、前年度に比べ 180,114 円減少しています。

## (2) 歳出の状況

歳出の決算状況は、次のとおりです。

### 歳出の決算状況

(単位:円、%)

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和 5年度	317,286,000	310,759,949	0	6,526,051	97.9
令和 4年度	306,600,000	299,082,305	0	7,517,695	97.5
増 減	10,686,000	11,677,644	0	△ 991,644	0.4

令和5年度の予算現額317,286,000円に対し、支出済額は310,759,949円で、執行率は97.9%です。支出済額は前年度に比べ11,677,644円増加しています。不用額は6,526,051円で、前年度に比べ991,644円減少しています。

## 5 介護保険事業特別会計

歳入歳出決算の前年度との比較は次のとおりです。

### 歳入歳出決算状況

(単位:円)

区 分	歳 入 総 額	歳 出 総 額	歳 入 歳 出 差 引 額	翌年度へ繰り越すべき財源	実 質 収 支
令和5年度	1,799,688,726	1,757,333,738	42,354,988	0	42,354,988
令和4年度	1,762,403,024	1,713,969,163	48,433,861	0	48,433,861
増 減 額	37,285,702	43,364,575	△ 6,078,873	0	△ 6,078,873

令和5年度の介護保険事業特別会計の決算額は、歳入総額1,799,688,726円、歳出総額1,757,333,738円で、歳入歳出差引額及び実質収支は42,354,988円の黒字となっています。

なお、介護保険財政調整基金については、40,200,000円を取り崩し、54,013,861円を積み立てた結果、決算年度末残高は87,602,078円となっています。

#### (1) 歳入の状況

歳入の決算状況は、次のとおりです。

#### 歳 入 の 決 算 状 況

(単位:円、%)

区分	予算現額	調定額	収入済額	うち 還付未済額	不納欠損額	収入未済額 (還付未済額含む)	予算現額と収入済額との比較	執行率	
								対予算	対調定
令和5年度	1,841,200,000	1,802,828,746	1,799,688,726	82,000	0	3,222,020	△ 41,511,274	97.7	99.8
令和4年度	1,797,400,000	1,765,283,624	1,762,403,024	0	80,100	2,800,500	△ 34,996,976	98.0	99.8
増 減	43,800,000	37,545,122	37,285,702	82,000	△ 80,100	421,520	△ 6,514,298	△ 0.3	0.0

令和5年度の予算現額1,841,200,000円に対し、収入済額は1,799,688,726円で、執行率は97.7%です。収入済額は前年度に比べ37,285,702円増加しています。不納欠損額は0円で、前年度に比べ80,100円減少しています。収入未済額は、還付未済額82,000円を含む3,222,020円で、前年度に比べ421,520円増加しています。

## (2) 歳出の状況

歳出の決算状況は、次のとおりです。

### 歳出の決算状況

(単位:円、%)

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和 5年度	1,841,200,000	1,757,333,738	0	83,866,262	95.4
令和 4年度	1,797,400,000	1,713,969,163	0	83,430,837	95.4
増 減	43,800,000	43,364,575	0	435,425	0.0

令和5年度の予算現額1,841,200,000円に対し、支出済額は1,757,333,738円で、執行率は95.4%です。支出済額は前年度に比べ43,364,575円増加しています。不用額は83,866,262円で、前年度に比べ435,425円増加しています。

## 6 基金運用状況

地方自治法第 241 条に基づく、定額の資金を運用する基金の運用状況は、次のとおりです。

### (1) 用品調達基金

決算年度中の運用状況は次のとおりです。

#### 用品調達基金

(単位:円)

区分	前年度末現在高	決算年度中増減高	剰余金繰出前現在高	剰余金	決算年度末現在高
現金	1,594,895	430,196	2,025,091	305,536	1,719,555
用品	1,005,105	△ 124,660	880,445	0	880,445
未払金	0	0	0	0	0
計	2,600,000	305,536	2,905,536	305,536	2,600,000

剰余金 305,536 円は一般会計・雑入へ繰り出しています。

### (2) 土地開発基金

決算年度中の運用状況は次のとおりです。

#### 土地開発基金

(単位:円)

区分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
土地	199,503,708	0	199,503,708
現金	350,496,292	0	350,496,292
未払金	0	0	0
計	550,000,000	0	550,000,000

基金の総額は、550,000,000 円で運用しています。

令和 5 年度は、土地の取得及び処分は行いませんでした。

## 7 まとめ

令和5年度の決算について審査した結果と意見は、次のとおりです。

令和5年度の一般会計と特別会計を合わせた決算規模は、歳入総額13,171,431,681円、歳出総額12,971,937,328円です。

一般会計については、歳入総額9,153,837,876円、歳出総額9,022,573,082円で、令和4年度に比べ、歳入で0.8%増加、歳出で1.4%増加しています。

歳入については、町税や国庫支出金は減少していますが、地方特例交付金、地方交付税、寄附金は増加しています。

歳出についても、総務費や商工費、教育費は減少していますが、民生費や土木費、消防費は増加していることから、総額は増加となりました。

決算収支は、実質収支額は105,277,794円の黒字、実質単年度収支は293,527,355円の赤字となっています。

### 第7 審査の意見

#### (1) 町税について

令和5年度の町税の決算額は、前年度との比較では27,935,718円（対前年度比-0.8%）減少しています。個人町民税は、納税義務者の若干の増加による平均所得の伸びにより納税額が増加し、増収となりました。法人町民税は、急激な円安の影響に加え、原材料価格の高騰に伴う仕入価格の上昇等が企業利益の減少に影響したと思われ減収となりました。固定資産税のうち償却資産については、全体的に設備投資を控えた事業所が多く、また新型コロナウイルス感染症が蔓延する中での新規投資の促進を図るため「先端設備等導入計画」の認定を受けた中小企業者の事業用資産の特例措置により大きく減収となりました。軽自動車税は、環境性能割の対象車両の増加や種別割の経年車重課制度の影響で増収となりました。町たばこ税は、販売本数の減少により減収となりました。

歳入は、歳出の財源となります。従って財源の確保は、町の施策を推進する上で大変重要となります。その中でも、町税収入は歳入総額の36.5%を占めており、町の歳入の根幹をなす重要な収入です。町では、数年にわたり兵庫県個人住民税整理回収チームの派遣を受けて滞納防止や徴収への取り組みが強化された結果、滞納整理対策委員会における関係課間の連携も定着し、情報共有や合同徴収の実施等、全体的な対応力も向上しています。また、積極的な滞納処分を行う一方で滞納者の実情に即した対応を行い、それぞれの滞納案件について細かな分析、緻密な対応がなされています。今後とも、より一層の取り組みを期待します。

## (2) 収入未済、不納欠損について

一般会計と特別会計を合わせた収入未済額は142,182,702円です。一般会計の収入未済額は77,217,679円で、前年度に比べ7,259円減少しています。そのうち、町税に係る収入未済額は60,432,494円です。特別会計3会計(国保・後期高齢・介護)の収入未済額は64,965,023円で、前年度に比べ1,261,291円減少しています。

一般会計と特別会計を合わせた不納欠損額は10,895,994円です。一般会計の不納欠損額は5,000,780円で、前年度に比べ193,446円増加しています。

前述のとおり、本町においては、関係課が連携して滞納解消に向けた取り組みを進められています。その結果、収入未済額は減少傾向にあります。滞納者の状況を把握したうえで、場合によっては厳しい対応を行うことも必要ではないかと考えます。今後も引き続き滞納整理に関する対応を強化し、収納率が向上するよう努めてください。

## (3) 町財政に関する課題について

財政調整基金について、令和5年度は1,100,000円を積立て、233,000,000円を取崩し、差引231,900,000円の減少となりました。また、実質単年度収支は293,527,355円の赤字と、前年度から連続して赤字が続く、今後においても、中播消防署の建替えやごみ処理施設の整備など、町財政に大きな負荷のかかる課題が多くあります。

これらの厳しい状況を踏まえ、長期にわたり持続可能な財政運営ができるよう、町としての対応策を早期にまとめ、実行してください。また、各事業の実施にあたっては効率化等に努めてください。

## (4) 随意契約について

随意契約の締結理由について、多くの決裁文書には「地方自治法施行令第167条の2第1項による」との記載がなされていますが、それだけではなく、契約の状況も含め、もう少し詳細な理由の記載を要望します。

また、30万円未満の業務委託等では、少額随意契約で発注先が固定化しているケースが見受けられました。「例年どおり」という理由で契約を行うことのないよう、改善の余地がないか検討をお願いします。

## (5) ふるさと応援寄附金、企業版ふるさと応援寄附金について

ふるさと応援寄附金については、徐々に寄附額が増加しています。関連する費用も総務省の規定する範囲に収まっており、適正な取組みがなされています。

令和6年度には「ふるさと納税プロジェクトチーム」を立ち上げ、返礼品の選定ほか納税の増加に向け取組みが強化されているところです。町財政への寄与度が大きいふるさと応援寄附金の増加に向けての取組みを、今後も一層強化してください。

#### (6) 財政援助団体等について

補助金等の財政的援助を与えている団体等について、その収支決算書等と、補助金支出の根拠が適正かどうかを確認しました。

その結果、一部の団体に対する補助金支出については、補助金額の減額の可能性及び収支差額を町に返金することについて、再検討するよう指示しました。

財政援助団体等については町として、支出後の事業管理や支出先の状況把握に努められているところですが、今後とも、それぞれの財政的援助等の目的が達せられるよう丁寧な確認を要望します。

#### (7) 委託契約について

委託事務契約等に関し、令和4年度から継続して各課で改善努力をいただいた結果、概ね良好な状況になったことを定期監査において確認しました。今後も、業務内容が明確か、委託料の算出根拠が明確か、検査調書が作成されているか等について留意して契約を行うよう努めてください。また、上位決裁者による十分なチェックをお願いします。

#### (8) 決算報告書及び関係書類について

町が作成している決算報告書及び関係書類については、決算年度中に実施された事業の内容や成果、課題等が網羅的に記載されており、各年度の町政運営を理解するための一助として非常に有効なものであると認識しています。しかしながら、当初提出された決算報告書においては、数字の記載ミス、誤字・脱字等の軽微な誤りが散見されました。また、地区名や各事業での専門的な語句等については、説明の追加や書き方の見直しなど、わかりやすい表現を希望します。今後とも、読み手にとってよりわかりやすいものとなるよう改善を続けてください。